

令和3年度 学校評価における年度末評価の報告

点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項 (特徴・特色・特殊な事情等)
	優れている・・・3 適切・・・2 改善が必要・・・1		
各企業（人事部）と木更津公共職業安定所との連携について、その他	3	今年度の就職希望者は多少減少した。（約140名が民間企業）（約20名が公務員）求人業種が偏っているため、地元の企業や就職実績のある企業に依頼をした。生徒も一つの職種に偏りがあったため、他業種について紹介をした。その結果、新規の会社への採用が決まり来年度も期待ができる。また、コロナ禍の影響でサービス関係の求人が落ち込んだので、今年度は求人がなくても繋がりを持ち続けるため特に女子生徒や優良企業と地元の企業については、こまめに連絡をしている。	求人に関して、コロナ禍の影響で特に、サービス関係の業種（ホテル・販売等）の求人数が減っている。医療機関においても、コロナ感染（ワクチン接種）の対応で通常の医療行為にも影響があり採用を止めている。しかし、介護関係は活発であった。また、日本製鉄（株）が5月頃減産体制に伴い求人も激減したが後半になって景気が回復したので来年度は期待できるので、繋がりを持ち続ける。
公務員試験対策について	3	今年度は、特に公務員試験に対する対策が情報（学習）不足と生徒の動きが今一步だったので、より一層指導に工夫が必要だった。過去の筆記試験内容と面接試験について指導し、また、集団面接・プレゼンテーションについても同様に一から指導するように心がけた。次年度に対しても12月初旬（1・2年生対象）に一回目の公務員ガイダンスを行った。さらに職種内容に合わせた指導を定期的実施する。	公務員試験の難易度が高くなってきているので、それに合わせた勉強方法が必要（SPI・一般常識問題・時事問題等）また、個々の学習能力を引き上げること、気持ちを維持し続ける大切さを意識付けたが、取り組みが遅かったのが残念であった。来年度は特に、行政職・事務職に対して基礎学習を早く取り込み更に採用試験に向けて講習会にも積極的に参加させる。筆記試験だけでなく、面接試験が重要視されてきているので、その対策にも力を入れたい。
インターンシップについて	3	新規の受け入れ団体からの要請が多くなる傾向が見られるので、ある程度の受入数に達したら固定したいと思っている。新規の団体（職種）については、検討する。	今年度は、コロナ禍の影響で受け入れ団体が減少した。生徒の動きに関しては、複数社参加をし、職種について理解を得たと思う。欠席、遅刻者がいなくて各団体からも好評価であった。

受付実践について	3	来校者の方との応対が初めての経験なので、言葉遣いや、一つひとつの動作にも気を遣い緊張をしている様子がかがえた。来校者の方にも新鮮でとても良いと好評であった。	受付実践を希望している生徒は、進路に対して意識が強く感じられた。教員間でも受付実践が認められるようになってきている様子。しかしながら、クラスにおいて参加することについて温度差が感じられた。
その他	3	今年度は、本校が地区の進路指導部会の幹事校（事務局）として、協議会を進めている。本母校として事務手続等を確実に進めている。	コロナ禍の影響で今後の日程内容が変更される懸念がある。